

# 様式 2

## 平成25年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

- |   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名      | 平成25年度 第2回安曇野市図書館協議会  |
| 2 | 日 時       | 平成25年11月6日 午後1時30分から午後3時00分まで   |
| 3 | 会 場       | 穂高交流学習センターみらい 多目的交流ホール  |
| 4 | 出席者       | 内田会長、田村副会長、丸山委員、野本委員、牛越委員、須澤委員、木船委員、<br>下川委員、新沢委員、会田委員、今泉委員                               |
| 5 | 市側出席者     | 丸山教育長、北條教育次長、三澤文化課長、青柳中央図書館長、宮下豊科図書館<br>長、清水三郷図書館長、丸山掘金図書館長、百瀬明科図書館長、小林図書館係<br>長、勝家図書館係主事 |
| 6 | 公開・非公開の別  | 一部非公開   |
| 7 | 傍聴人       | 0人 記者 0人  |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成25年11月20日   |

### 協 議 事 項 等

- |   |      |   |
|---|------|---|
| 1 | 会議概要 | (1) 開会 (三澤文化課長)<br>(2) あいさつ (内田会長) (丸山教育長)<br>(3) 協議事項<br>①図書館フェスタについて・・・報告事項<br>②平成26年度事業計画について・・・協議事項<br>③相互貸借搬送料の費用負担について・・・協議事項<br>(4) 非公開の協議事項<br>(5) その他<br>(6) 閉会  |
| 2 | 審議概要 | (1) 図書館フェスタについて<br>(事務局から図書館フェスタについて報告)<br>・図書館フェスタを9月7・8日(土・日)に開催。来場者数は7日1,618人、8日1,835人の計3,453人。<br>・駐車場については、西側の中村製作所駐車場をお借りし、みらい周辺の駐車場については大きな混乱はなかった。<br>○図書館フェスタ全体のアンケート結果について(回収人数72人)<br>・アンケートにお答えいただいた年齢層は、昨年度は60歳以上が52%、今年度は60歳以上が33%、40歳以上が49%で幅広い年齢層の皆さんにご利用いただいたと考えている。<br>・図書館フェスタをどのようにお知りになりましたかという問いには、ポスター・チラシ・知人から聞いて・広報あづみのと答えた人が約60%でした。図書館フェスタを知らない人がまだまだいるので、さらに広報に努めていきます。<br>・図書館フェスタの評価ですが、65%の人に大変よい、よいというご意見を頂いています。<br>○図書館フェスタで良かった企画について<br>・新たな事業「信濃毎日新聞データベース体験」については、誕生日の新聞記事をプリントアウトしてお持ち帰りいただくという企画で好評でした。これに伴い、中央図書館にも信毎データベースを備え付けていますが、利用率が向上しました。<br>・新たな事業「図書館川柳について」は、公募方法、選定方法に若干不備があったと考えています。今年の反省を踏まえて、来年度はもっと大勢の方からご利用いただけるような方法を考えていきたいと思えます。<br>・図書リサイクルコーナーが一番良かった企画として多くの方から選ばれました。ご意見の中でも10人近い方にぜひ図書館フェスタだけではなく、常設するなり、年に数回実施していただきたいというご意見もいただいておりますので、具体的な検討はこれからですけれども、来年の事業計画の中にも取り入れていきたいと考えております。<br>○長谷川義史絵本ライブについて<br>・当初、定員180人で募集しましたが、初日にはほぼ満杯になってしまい、さらに20人追加しましたが、それでもすぐに埋まってしまいました。キャンセル待ちで受け付けた人が60人程いまして、大変盛況でした。<br>図書館フェスタ報告は以上。<br>(委員)<br>お住まいの地域を見ると、穂高地域が38人で他の地域が少ない。他の地域の人へのPRはどのようになっていますか。 |

(事務局)

PRについては、市内全ての図書館にポスター、チラシを置き、地域の公共施設等にもポスター等、掲示させていただいてPRを行いました。また、新聞等のメディアを通じて、PRもしましたが、このような偏りがあることは事実です。この件については、来年度に向けてどのようにしたら他の地域から来ていただけるかということとをさらに研究していかなければいけないと考えています。

(委員)

リサイクルコーナーが非常に喜ばれていて、常設にならないかという意見もありました。これから検討されていくようですが、常設にできるかどうか、いかがでしょうか。

(事務局)

理想としては実施したいと考えています。ただし、リサイクル本を常に置ける場所を確保できるかどうかの問題点です。利用者からは自宅で不用になった本や眠っている本があるので、寄贈したいという申し出を常々頂いておりますので、前向きに検討していきたいと考えています。この後、説明いたしますが、26年度の事業にも盛り込ませていただきました。

(2) 平成26年度事業計画について

(各図書館長から26年度事業計画について、事務局から予算について説明)

(委員)

毎年同じ事業が日時未定となっています。夏休みとかクリスマスは時期が決まっていますので、何月にやる位は載せて欲しいと思います。それから、先ほどの説明の中で書評バトルという話が出ましたが、学校との連携としては非常によい試みだと思っておりますので、ぜひ実現していただきたいと思っております。

(委員)

個人的なアイデアですが、社会的に起こっている現象と図書館の事業のリンクが薄いのではないかと思います。例えば、若者が理科離れということで理系の学生が減ってきているとか、小学校でも英語を教えているとか、スマホを手から離せない子どもが増えているとか、そういう事象の中で図書館としてどういうことができるのかと考えたときに、読み聞かせ等は、小学生以下位を対象にしていると思うのですが、中学生、高校生に対して図書館はどんな事業を展開するのか、利用を拡大していけるのかということと考えたときに何かアイデアがないのかなと思います。安曇野市には高校がたくさんあるわけですが、そういう部活の中で朗読をする、放送部というものがあれば、話術とか、地方に伝わっている民話とかそういうものを放送で流す機会があると思います。中学生、高校生を部活等の中で、図書館として支援するものがあれば、図書館に来て本で調べたりすることができると思います。理科離れというところから考えると、地質の本とか、物理の本であるとか、化学の本であるとか、それは誰も紹介してなくて、好きな子が見ていると思います。それと同時に手ほどこきするような仕掛けがあればいいような気がします。ぜひ、社会的に起こっている現象と図書館の事業をどこかでリンクしていただきたいなと思います。

(会長)

新しいアイデアを頂きましたが、ぜひ企画として取り入れて事業計画を組んでいただければと思います。

(事務局)

貴重なご意見をいただき、参考にさせていただきたいと思っております。今の件に関しては、図書館講座の部分かと思っております。ひとつ考えているのは、同じテーマで何か所かの図書館で日を変えて、市内の図書館で同じ講座をやってみるとか、市のまちづくり推進課で所管している出前講座もありますので、こちらから出かけていって講座を開くことも可能になると思っておりますので、前向きに取り組んでまいりたいと思っております。

(中央図書館長)

図書館全体として、小中高生との連携を進めています。委員さんから指摘された点についても、26年度に実現可能な限り進めていきたいと考えています。また、書評バトル、ビブリオバトルについてもご意見いただきました。私も中学生にとって非常にいい機会になると感じていますので、中高生が図書館に来れる様なものを考えてまいりたいと思っております。

(委員)

リサイクルコーナーというのは基本的には図書館から出た本を皆さんにお分けするということですか。

(事務局)

今まではそのように行っていました。

(委員)

常設するとなると寄贈していただくことになると思います。提案ですが、無償でやりとりするのはもったいないと思います。伊那市では寄贈していただいたときに地域通貨を発行して、地域通貨を持って、地元の商店を周ったり、インターネットの古本販売の業者さんを通して、販売をする。それを図書館の棚とか、新しいものを買う時に使う。頂いた本にきちんと価値をつけて販売をしていくというのも、ただ無料というのも、もちろん市民はうれしいと思いますが、きちんと価値をつけて皆さんにお返ししていくというのも、市の共有財産という観点から見ても、全然おかしくないし、人が街中を歩くというのはとてもいいことだと思います。こういう仕組みを行政でやっている例もあるので、検討していただければありがたいです。

(3) 相互貸借搬送料の費用負担について

(事務局より、県内19市の相互貸借実施方法の説明。その後、改善案を3案、提案。)

改善案①

市内在住者については20冊まで無料とする。

改善案②

利用登録者については20冊まで無料とする。

改善案③

利用登録者については冊数制限なしで無料とする。

(事務局)

この3案の中から、ご意見を伺って、1番最善と思われる案を採用したいと考えています。これに伴いまして、図書の購入リクエストについては、市内在住者に限っていて、年間10冊までと制限していますが、相互貸借が利用全体まで範囲を広げるといふことであれば、整合性を図っていきたいと思います。

(会長)

3案示されておりますので、協議会の中でどの案がいいというところまで持っていきたいと思います。他の市町村ではほとんど無料、または無料だけれども冊数制限をしているというところも多いようです。

(事務局)

補足説明させていただきますと、無料化するメリットとして、購入リクエストをいただいていく中で、購入するよりも相互貸借を利用した方が安価ですむということもあります。そこで浮いてくる予算を他の図書の購入にまわすということも可能になります。現在は10万円程度、郵送料を負担していますので、10万から20万の増加となると思いますが、利用者のためと割り切るかどうかとなると思います。

(委員)

冊数に制限をつけるのも手だと思いますが、全て無料ということはどうでしょうか。

(委員)

今のところはこの金額に収まっていますが、無料だから借りたいといった場合の試算はしていますか。

(事務局)

現在安曇野市の蔵書は35万冊強。人口24万人の松本市で、40万円程で賄えているということですので、多くても30万円以下で賄えるのではないかと考えています。

(会長)

協議会としての意見を出さなければいけないと思いますので、3案の中で多数決をとりたいと思います。改善案1に賛成する方は挙手をお願いします。(挙手なし) 改善案2に賛成する方は挙手をお願いします。(挙手なし) 改善案3に賛成する方は挙手をお願いします。(挙手多数) ほとんどの方が改善案3に賛成ということで、協議会としては3案をあげさせていただきます。

(4) 非公開の協議事項

(5) その他

(事務局)

当日配布資料を用意させていただきましたが、インターネット予約サービスの状況です。6月1日から10月31日までの予約数、5ヶ月間の昨年の同時期との比較ということで数字を出しました。予約数については、1日当たり33件が64件になり、約2倍ということで、7月の協議会で報告した状況と変わっていません。貸出冊数については、10月から月曜日が休館となり、ひと月分の開館日数が減少しているため、1日あたりの貸出件数が約7%増加しています。貸出の総件数が5ヶ月間で14,000件程増加していますので、1年間で25,000から30,000件程の増加を見込んでいます。このまま増加していくと、過去最高の貸出数を年度末には記録できると考えております。松本市や塩尻市の状況を聞きますと、インターネット予約サービスが始まってから、時間とともに増加していくとのこと。まだ、インターネット予約サービスをご存じでない人もいますので、周知をして貸出数の増加につなげていければと思います。

(会長)

ありがとうございます。以上で平成25年度第2回図書館協議会を閉会します。

以上で閉会





